【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成20年12月18日(2008.12.18)

【公表番号】特表2008-521354(P2008-521354A)
【公表日】平成20年6月19日(2008.6.19)
【年通号数】公開・登録公報2008-024
【出願番号】特願2007-543247(P2007-543247)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ　5/76　(2006.01)
Ｇ０６Ｔ　1/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ　5/76　Ｂ
Ｇ０６Ｔ　1/00　２００Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成20年10月28日(2008.10.28)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
レコードの系列をイベントに、前記レコードそれぞれに関連した特徴値に基づいて分類する方法であって、
連続した前記レコード間の特徴差を判定する工程と、
前記特徴差をランク付けする工程と、
前記特徴差の３つ以上のクラスタの系列を、イベント間の間隔を表すそれぞれの前記特徴差の相対的尤度の降順に計算する工程とを備える方法。
【請求項２】
レコードの系列をイベントに、前記レコードそれぞれに関連した特徴値に基づいて分類する方法であって、
連続した前記レコードの前記特徴値間の差を判定して特徴差を得る工程と、
前記特徴差をランク付けして、クラスタリングされていない差の組を得る工程と、
前記クラスタリングされていない差の組からの前記特徴差の複数のクラスタを順次分割する工程であって、前記クラスタが相互排他的であり、前記分割が、イベント間の間隔を表すそれぞれの前記特徴差の相対的尤度の降順で行われる工程を備える方法。
【請求項３】
レコードのデータベースをイベントに分類する方法であって、前記レコードはそれぞれ、関連した特徴値を有しており、前記特徴値は序数であり、1又は複数の次元を有しており、前記レコードは、それぞれの前記特徴値の順にランク付けされ、前記方法は、
連続した前記レコード間の特徴値差を判定する工程と、
前記特徴値差をランク付けして、クラスタリングされていない差の組を得る工程と、
前記クラスタリングされていない差の組の前記特徴値差から境界を算出する工程であって、前記境界は、イベント間の間隔を表す可能性が比較的高い前記クラスタリングされていない差の組の前記差のクラスタを規定し、前記境界は、前記クラスタを除外するよう、前記クラスタリングされていない差の組を再規定する工程と、
前記算出を少なくとも一度繰り返す工程とを備える方法。
【請求項４】

イベントに分割された画像ファイルのデータベースを、前記画像ファイルそれぞれに関連した日時情報に基づいて編成する装置であって、
連続したレコード間の特徴差を判定する手段と、
前記特徴差をランク付けする手段と、
イベント間の間隔を表すそれぞれの前記特徴差の相対的尤度の降順に前記特徴差の3つ以上のクラスタの系列を計算する手段と、
前記降順において最低の前記クラスタにおけるそれぞれの前記特徴差がイベント内にあるものとして指定し、前記降順において最高の前記クラスタにおけるそれぞれの前記特徴差がイベント間にあるものとして指定する手段とを備える装置。